ステップ30

EXCEフークブック





Step (01)	Excel の起動と文字入力	6
	Excelを活用できる場面 / Excelの起動 / データの入力方法 / 入力したデータの修正 / 選択しているセルの移動 / オートフィルの利用	
Step (02)	ファイルの保存と読み込み	0
	Excelのメニュー操作 / 作成した表の保存 / フォルダの指定方法について / Excelファイルの読み込み / 上書き保存と別名保存	
Step (03)	画面表示と新規ブックの作成1	4
	ツールバーの役割 / ツールバーの表示切り替え / 表示倍率の変更 / ブックのウィンドウ表示 / 作業ウィンドウについて / 新しいブックの作成 / 操作するブックの切り替え	
Step (04)	セル範囲の選択 1	8
	ドラッグによるセル範囲の選択/選択範囲の解除/行、列、シートの選択/ 複数の行、列を選択する/キーボードによるセル範囲の選択/ 選択範囲の追加	
Step (05)	文字の書式設定 2	2
	フォントの指定 / 文字サイズの指定 / 文字色の指定 / 太字、斜体、下線の指定 / 配置方法の指定 / セル内の一部の文字についてのみ書式を変更する	
Step (06)	セルの背景色と罫線の設定 2	6
	セルの背景色の指定/罫線の指定/ 「罫線」ツールバーを利用した罫線の描画/ 「罫線」ツールバーを利用した罫線の削除	
Step 07	行、列の操作 3	0
	列幅、行の高さの変更 / 列幅、行の高さを数値で指定する / 列幅の自動調整 / 行、列の挿入 / 挿入オプションの操作 / 行、列の削除	

Step (08)	表示形式の設定 - 1	3 4
	小数点以下の表示桁数の指定 / セルの表示と実際に入力されている数値 / 同じ列で数値が表示される位置を揃える / 桁区切りスタイルと通貨スタイル / パーセントスタイルの適用	
Step (09)	表示形式の設定 - 2	38
	「セルの書式設定」ダイアログを使った表示形式の指定 / 「標準」の表示形式 / 「数値」の表示形式 / 「通貨」「会計」の表示形式 / 「日付」「時刻」の表示形式 / 「ユーザー定義」の表示形式 / 「パーセンテージ」「分数」「指数」の表示形式 / 「文字列」の表示形式	
Step (10)	セルの書式設定	42
	配置方法の指定 / セルの結合 / 文字の書式の指定 / 罫線の指定 / セルの背景色の指定	
Step (11)	ワークシートの操作	4 6
	ブックとワークシート / ワークシートの選択 / ワークシートの挿入と削除。 ワークシートの並べ替え / ワークシートの名前を変更する / ワークシートのコピー / シート見出しの色を変更する	/
Step (12)	ワークシートの印刷 - 1	50
	印刷プレビューの確認 / 印刷プレビューのズーム表示 / 用紙サイズの指定 / 余白の指定 / 印刷の拡大と縮小 / 印刷の実行	/
Step (13)	ワークシートの印刷 - 2	5 4
	改ページプレビューの利用 / 通常の編集画面に戻すには / セル範囲を指定して印刷を実行する / 全てのページに見出しを表示するに	す
Step (14)	ヘッダーとフッター	5 8
	ヘッダー・フッターの概要 / ヘッダー・フッターに印刷する文字を指定する ヘッダー・フッターの編集 / ヘッダー・フッターの文字の書式を指定する。 ヘッダー・フッターの位置を指定する	

Step (15)	基本的な表の作成例	62
	ワークシート全体の書式設定 / タイトル、見出しの作成と列幅の調整 / データの入力 / 表示形式、配置方法の指定 / 罫線、背景色の指定 / 表の印刷 / ワークシートの操作	
Step (16)	計算式の入力	66
	計算式の入力と演算記号 / セルの表示と実際に入力されている内容 / セルを参照した計算式 / 計算式のオートフィル / 行や列の挿入、削除を行った場合 / 計算結果の表示形式	
Step (17)	関数の利用 - 1	70
	関数の概要 / 合計値を算出する関数の入力 / 平均値、データの個数、最大値、最小値を算出する関数 / 参照するセル範囲の変更 / 参照するセル範囲の再指定	
Step (18)	関数の利用 - 2	74
	「関数の挿入」ダイアログの利用/関数の構成/関数をセルに直接入力する	3
Step (19)	関数の利用 - 3	78
	関数「IF」の概要 / 条件の記述方法 / 条件に応じて表示する文字を変化させる / 条件に応じて異なる計算を実行	する
Step (20)	グラフの作成と編集 - 1	82
	グラフの作成手順 / 系列の指定について / 一部のデータだけを基にグラフを作成する	
Step (21)	グラフの作成と編集 - 2	86
	グラフウィザードの1画面目について / グラフウィザードの2画面目につい グラフウィザードの3画面目について / グラフウィザードの4画面目につい	
Step (22)	グラフの作成と編集 - 3	92
	書式設定ダイアログの呼び出し / データ系列の書式設定 / 軸の書式設定 / 凡例、データテーブルの表示など / グラフの種類の変更 / グラフの印刷 / グラフの削除	

Step (23)	リストの作成とフォーム
	リストの概要 / レコード、フィールド、フィールド名 / リストを作成する際のルール / フォームの利用
Step (24)	データの並べ替え 100
	データを数値順に並べ替える/昇順と降順/データを50音順に並べ替える/ 複数のフィールドを指定した並べ替え
Step (25)	ふりがなの編集 104
	ふりがなの仕組み / ふりがなの表示 / ふりがなの編集 / ふりがなボックスの結合 / ふりがなリストの利用
Step (26)	オートフィルタ 108
	オートフィルタの概要 / オートフィルタの起動 / 同じ文字のレコードだけを抽出する / 抽出条件を解除する / トップテン オートフィルタを利用する / オートフィルタ オプションの利用 / 複数のフィールドに抽出条件を指定した場合 / オートフィルタの終了
Step (27)	覚えておくと便利な機能 - 1 112
	コメントの挿入と表示 / ハイパーリンクの指定 / 入力規則の指定
Step (28)	覚えておくと便利な機能 - 2 116
	オートフォーマットの利用 / 条件付き書式の概要 / 条件付き書式の指定方法
Step (29)	覚えておくと便利な機能 - 3 120
	見出しの行を常に画面に表示する/見出しの行と列を常に画面に表示する/ 特定のセル範囲だけ操作できるようにする/「シートの保護」の解除
Step (30)	覚えておくと便利な機能 - 4 124
	[挿入]メニューの[図] / 画像の挿入 / イラストの挿入 / ワードアートの挿入 / 図形の描画



Excel の起動と文字入力

Excelは表計算ソフトに分類されるソフトウェアで、表の作成やデータ処理に利用できます。このステップでは、Excelの起動およびデータの入力方法について学習します。

Excelを活用できる場面

まずは、表計算ソフトであるExcelを活用できる場面から紹介します。 Excelは、大きく分類すると以下のような3つの場面で活用できます。

- (ア)文字や数値が入力された表を作成する場合
- (イ)数値データについて、さまざまな計算を行う場合
- (ウ)各種データを統計的に処理する場合

(ア)の「表の作成」は、時間割のように表がメインとなる文書の作成を指します。このような作業はワープロソフトであるWordでも実行可能ですが、Excelの方が効率よく表を作成できます。また、(イ)や(ウ)のような「データ処理」に活用できるのもExcelならではの特徴です。たとえば、テストの結果をまとめて平均点や最高点を算出したり、実験結果をまとめて統計をとったりする場合に、Excelを活用できます。

Excel**の起動**



ワンポイント

[スタート]メニューの 表示

[スタート]メニューや [すべてのプログラム]に 表示される内容は、イン ストールされているソフ トウェアなど、それぞれ のパソコン環境により異 なります。 Excelを利用する際は、Excelを起動させる必要があります。これは、[スタート]メニューから[すべてのプログラム] [Microsoft Office] [Microsoft Office Excel 2003]を選択すると実行できます。また、デスクトップに「Microsoft Office Excel 2003」のショートカットアイコンがある場合は、アイコンのダブルクリックでExcelを起動させることも可能です。



図1-1 [スタート]メニューから[すべてのプログラム] [Microsoft Office] [Microsoft Office Excel 2003]を選択します。



図1-2 または、「Microsoft Office Excel 2003」のショートカットアイコンをダブルクリックします。

データの入力方法



ワンポイント

データの削除 セル内に入力したデータ を削除する場合は、その セルを選択した状態で [Delete]キーを押しま す。すると、セル内のデ ータが削除され、空白の セルに戻ります。 Excelを起動すると、画面には縦横に区切られたマス目がいくつも表示されます。Excelでは、このマス目のことを「セル」と呼びます。文字や数値といったデータは、それぞれのセル内に入力する仕組みになっており、(セルの選択) (データの入力)という手順でデータを入力していきます。

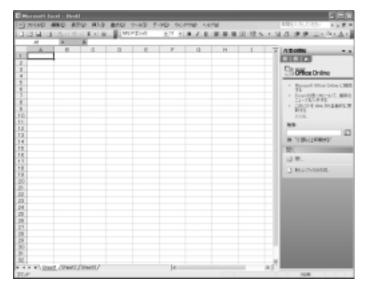


図1-3

Excelを起動する と、縦横に区切ら れたマス目(セル) が表示されます。



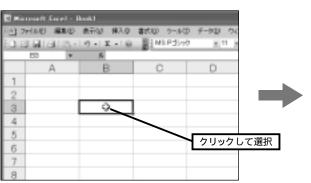


図1-4 データを入力するセルをクリックして選択します。

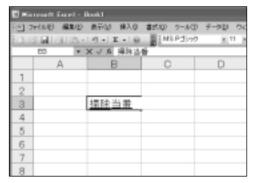


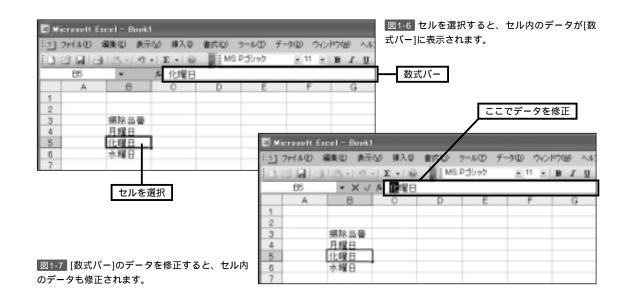
図1-5 キーボードから文字や数値を入力し、セルにデータを入力します。

入力したデータの修正



ワンポイント

ダブルクリックによる データ修正 データが入力されている セルをダブルクリックす ると、セル内に文字編集 用のカーソルが表示され ます。この状態でデータ の一部を修正することも 可能です。 セルに入力したデータを修正する場合は、そのセルを選択してからデータを 再入力します。すると、以前のデータが消去され、新しいデータに置き換わり ます。また、入力したデータの一部だけを修正することも可能です。この場合 は、セルを選択したあと[数式バー]でデータを修正します。



選択しているセルの移動

選択中のセルは、キーボードの矢印キー([][][]キー)で移動でき ます。また、[Enter]キーを押すと1つ下のセルに、[Tab]キーを押すと1つ右 のセルに、選択中のセルが移動します。これらのキーを併用してデータ入力を 行うと、素早くデータを入力できるようになります。



	A	В	0	D
1				
2				
3		数学	555	1
4				
5				
6				

図1-9 [Tab]キーを押すと選択中のセルが1つ右に移 動し、右隣のセルにデータを入力できます。

	A	В	0	D
1				
2				
3		数学		
4		89	1	
5				
6				

図1-10 [Enter]キーを押すと選択中のセルが1つ下 に移動し、すぐ下にあるセルにデータを入力できます。

オートフィルの利用

Excelにはオートフィルと呼ばれる機能が用意されています。オートフィルは データ入力を補助する機能で、同じ文字を繰り返し入力したり、「1、2、3…」 や「月、火、水」などの連続したデータを入力する場合に便利に活用できます。



図1-11 オートフィルを利用する場合は、データが入力さ れているセルの右下にある (フィルハンドル)を上下左 右にドラッグします。

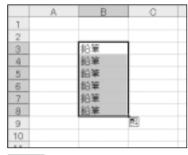


図1-12 ドラッグした範囲に同じデータ が自動入力(コピー)されます。

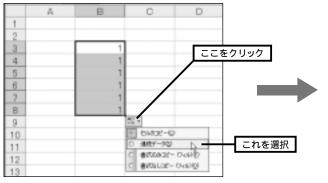


図1-13 連続した数値を自動入力する場合は、オートフィルを実行 したあと[オートフィルオプション]から[連続データ]を選択します。

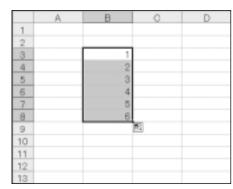


図1-14 自動入力されたセルのデータが連続した 数値に変更されます。

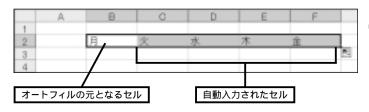


図1-15「月、火、水、...」や 「子、丑、寅、…」など、規則 性のある文字をオートフィル で入力することも可能です。



(1) Excelを起動し、以下のような時間割を作成してみましょう。

	A	В	C	D	E	F	G
1							
2		2年3組の8	今回を制				
3							
4			月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
5		1時間日	国語	道德	数学	社会	数字
6		2時間日	数学	英語	社会	音楽	王聖 84
7		3時間目	技家	美術	理料	英語	英語
8		4#時間目	技術家庭	社会	国語	理科	体育
9		5時間日	体育	総合	体育	選択	(X)15
10		6時間日		総合		選択	学活
11							

- (2)「1時間目」の文字を「1時限」に変更してみましょう。
- (3) オートフィルを利用して、「2時間目」~「6時間目」を「2時限」~「6 時限」に変更してみましょう。

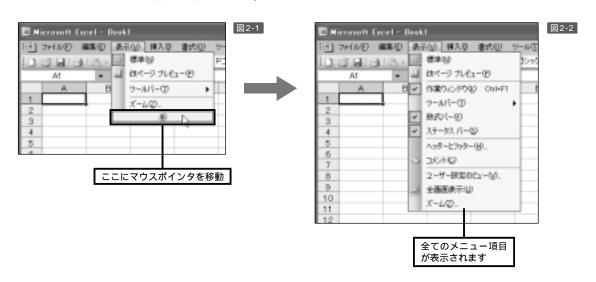


ファイルの保存と読み込み

Excelで作成した表はファイルに保存して保管します。保存した表は、あとから読み込んで印刷したり、編集を行ったりできます。このステップでは、ファイルの保存と読み込みについて学習します。

Excelのメニュー操作

Excelでは各種操作を行うのにメニューを利用しますが、メニュー項目が一部省略されて表示される場合もあります。このような場合は、メニューの一番下にある の上にマウスポインタを移動させます。すると、全てのメニュー項目が表示されます。



作成した表の保存



ダイアログ ソフトウェアの設定を変 更したり、機能を実行す るためのウィンドウを 「ダイアログ」または 「ダイアログボックス」 と呼ぶ場合もあります。 作成した表をファイルに保存する場合は、[ファイル]メニューから[名前を付けて保存]を選択します。すると「名前を付けて保存」ダイアログが画面に表示されます。ここで保存先のフォルダとファイル名を指定し、[保存]ボタンをクリックするとファイルの保存を実行できます。



図2-3 表をファイルに保存する場合は、[ファイル]メニューから[名前をつけて保存]を選択します。





図2-5 保存先に指定 したフォルダを開く と、Excelのアイコン のファイルを確認でき ます。これが保存した ファイルとなります。

フォルダの指定方法について

「名前を付けて保存」ダイアログで保存先フォルダを指定する際は、[保存先] に表示されているフォルダを変更します。この操作はフォルダの移動で実行できます。



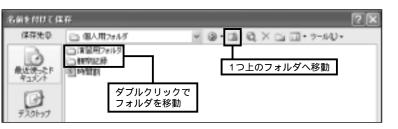


図2-7 保存先フォルダ内にあるフォルダをダブルクリックすると、そのフォルダに移動できます。1つ上の階層にあるフォルダへ移動する場合は、[1つ上のフォルダへ移動]ボタンをクリックします。



図2-8 ダイアログの左側にあるボタンをクリックして「デスクトップ」 や「マイ ドキュメント」フォルダなどへ移動することも可能です。

Excelファイルの読み込み

ファイルに保存した表を読み込む場合は、Excelを起動し、[ファイル]メニューから[開く]を選択します。「ファイルを開く」ダイアログでフォルダとファイルを選択し、[開く]ボタンをクリックすると、表をExcelに読み込むことができます。また、保存したファイルのアイコンをダブルクリックして、Excelの起動と表の読み込みを同時に実行することも可能です。



図2-9 Excelを起動し、 [ファイル]メニューから [開く]を選択します。





図2-10 保存先のフォルダ、ファイルを選択し、[開く]ボタンをクリックします。



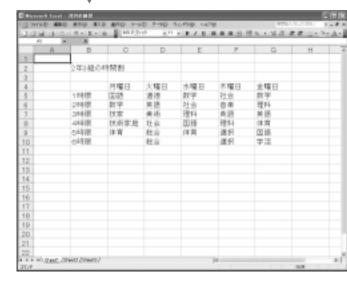


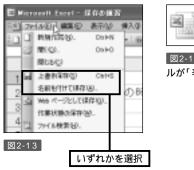
図2-11 選択したファイルが開き、表が 画面に表示されます。



図2-12 Excelファイルのアイコンをダブルクリックして表を開くことも可能です。

上書き保存と別名保存

ファイルから表を開いた場合、および既に保存を実行した場合は、[上書き保存]と[名前を付けて保存]の2通りの保存が行えます。[上書き保存]は、既にあるファイルを書き換えて保存します。一方[名前を付けて保存]は、既にあるファイルをそのまま保持し、新しく別の名前でファイルを保存します。



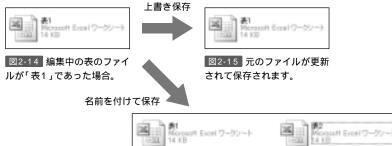


図2-16 新しい名前で別のファイルに保存できます。元のファイルが変更されることはありません。



(1) Excelを起動し、表に以下のようなデータを入力してみましょう。

	A	В	C	D	E	F
1						
2		湖名	面積(km²)	透明度(m)	都道府県	
3		琵琶湖	670.5	5.8	滋賀県	
4		数ヶ浦	167.6	1.2	茨城県	
5		サロマ湖	150.4	7	北海道	
6		猪苗代湖	103.3	10.5	福島県	
7		中海	86.6	1.1	島根・鳥取り	株
8						

- (2)演習1で作成した表をファイルに保存してみましょう。
- (3)一度Excelを終了させたあと、演習2で保存した表をExcelで開いてみましょう。
- (4)演習3で開いた表に「屈斜路湖」を追加し、別名で保存してみましょう。

	A	В	C	D	E	F
1						
2		湖名	面棟(km²)	透明度(m)	都道府県	
3		琵琶湖	670.5	5.8	油賀県	
4		数ヶ浦	167.6	1.2	茨城県	
5		サロマ湖	150.4	7	北海道	
6		猪苗代湖	108.8	10.5	福島県	
7		中海	86.6	1.1	息根:鳥取!	株
8		尼科路湖	79.4	9	北海道	
9						

12 Step 02 ファイルの保存と読み込み 13